

2018年(平成30年)7月10日
日本貨物鉄道株式会社

大雨による貨物列車の影響について

(7月10日17時現在)

7月5日未明より各地で続いております大雨により、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

この大雨による貨物列車への影響について、姫路貨物駅から岡山貨物ターミナル駅間、岡山貨物ターミナル駅から東水島駅間、および岡山駅～高松貨物ターミナル駅間については本日より運転を再開しておりますが、現在も以下の区間で運転を見合わせています。

1. 列車の運転を見合わせている主な区間

- 山陽線 笠岡(岡山県)・海田市(広島県)間
岩国・徳山(山口県内)間
- 伯備線 倉敷(岡山県)・上石見(鳥取県)間
- 予讃線 本山・観音寺(香川県内)間
今治・伊予北条(愛媛県内)間

※ 詳細な区間については、弊社ホームページ「現在の輸送状況」並びに各JR旅客会社のホームページを御覧ください。

2. 貨物列車運転中止区間

- 倉敷駅(岡山県)・新南陽駅(山口県)間
- 倉敷駅(岡山県)・伯耆大山駅(鳥取県)間
- 宇多津駅(香川県)・松山駅(愛媛県)間

3. 貨物列車の運転状況

10日8:00時点において、山陽線を走行する列車を中心に、延べ508本の貨物列車が運休となっております。

今後については、倉敷駅以東、新南陽駅以西を運転する列車、および高松貨物ターミナル駅、東水島駅を発着する列車については運転を行います。現在貨物列車運転中止となっている区間を運行する列車については、引き続き全て運休となります。

現在運転を見合わせている区間については、関係JR旅客会社とともに復旧作業等の検討を行っていますが、線路の被害状況が甚大であることから、運転再開の目途はたっておりません。今後、その見込みが判明しだいお知らせ致します。

以上の点を鑑み、現在関係者間で、自動車等を使用した代替輸送の検討を行っております。これにつきましても、実施が決定次第、あらためてお知らせ致します。

※ 詳細な運転状況については、弊社ホームページ「現在の輸送状況」を御覧ください。

4. 貨物の受付状況

姫路貨物駅から岡山貨物ターミナル駅、東水島駅並びに高松貨物ターミナル駅間の貨物については7月10日より受付を再開しましたが、倉敷駅から新南陽駅間(山口県)を通過する貨物、予讃線多度津駅以西を発着する貨物及び伯耆大山駅を発着する貨物については、引き続き受付を停止しています。(7月8日15:15より継続中)

(参考) 貨物列車運転中止区間の概要

1. 一日当り輸送量 (平成28年度実績)
30,000トン (全社輸送量約90,000トンの約33%)
2. 一日当り列車運転本数
87本 (全社一日当り列車本数456本の約19%)
3. 主な輸送品目
上り方面 宅配貨物、農産品、食料品、工業製品、紙製品等
下り方面 宅配貨物、雑誌書籍、食料品、自動車部品、工業製品等

平成30年7月豪雨による山陽・伯備・予讃線の貨物列車運転状況 (7月10日8時現在)

—— 運転可能区間

..... 不通区間

